

平成23年度 基本事業評価 評価委員会意見一覧

施策の大綱 1 地域社会とともに進める安心と安らぎのまちづくり

施 策	1 - 1	地域福祉・障がい者福祉の充実	
基本事業名	1 - 1 - 1	地域福祉推進体制の強化・福祉サービス支援の適正化	健康福祉課
■地域福祉推進体制 ・行政区は区長さんが中心なので、地域福祉の推進は区長さんからの提案という形で説明会などを開催しながら進めていただきたい。 ・地域福祉の推進は、町社会福祉協議会とも協力連携して進められているが、社会福祉協議会の職員数が少ないという状況がある。 ■障害者支援体制 ・障害者相談支援事業は非常に効果を上げていると思うが、障害手帳持参者が町内で約1,500名位おられるので、現在の1人体制を検討していただき、障害のある方に対するケアマネジメントができればいいと思う。			

施 策	1 - 3	児童福祉と次世代育成支援の充実	
基本事業名	1 - 3 - 1	地域における子育ての支援（子どもの健やかな成長）	子育て支援課
■子育て支援の推進 ・子育て支援施策について、現状よりも、もう一つ上を目指して向上、進歩していただきたい。 ■待機児童対策 ・既存の町の老人ホームなどの施設で子どもも預かるところもあると聞いているが、そのような考えはないか。 ⇒町では家庭的な保育をしているところに対し、社会福祉法人と同じように町が委託料を支払うという事業を考えている。			

施 策	1 - 4	保健・保険事業の推進	
基本事業名	1 - 4 - 2	健康保険事業の推進	保険医療課
■マッサージ利用補助 ・大津町では、はりきゅうに対する補助はあるが、他の自治体にはマッサージ利用に対する補助もあるところがあるので検討していただきたい。			

施 策	1 - 5	町民の健康づくりと地域医療の充実	
基本事業名	1 - 5 - 1	町民の健康づくり	健康福祉課
■健康意識の啓発 ・地域住民が集まられている場所などで、役場の担当者から健康診断などについての説明があれば、健康意識が高まり受診率も上がることで、早期発見、早期治療により、医療費の抑制につながると思う。 ■検診会場施設 ・検診会場の公民館でエレベーターが動いてないことがあったので、関係課で連携をとりながら対応していただきたい。			

施策の大綱 2 力強く自立した農工商併進のまちづくり

施 策	2 - 1	農業の振興	
基本事業名	2 - 1 - 1	農業生産基盤（農業用水路）の整備	農政課
■農地・水・環境保全向上対策事業 ・本事業は本年度で事業年度が終わるとの話を聞いているが、その後の事業について、早急に関係者への説明会を実施していただきたい。 ■上井手の景観整備 ・上井手北側（右岸）の景観については、行政側で交渉や指導をしながら整備を進めていただきたい。			

施 策	2 - 4	工業の振興	
基本事業名	2 - 4 - 1	工業の振興	企業誘致課
■企業誘致の推進 ・今後、大津町の充実を図るためには、企業連絡協議会と町が一緒になり、新たな分野や産業を学習しながら企業誘致を積極的に推進していくことが重要である。 ・社会インフラや教育などが充実した住みよいまちであれば、研究開発部門などの誘致ができるのではないか。			

施 策	2 - 5	観光の振興	
基本事業名	2 - 5 - 1	観光施設の整備	商業観光課
■上井手を活用した観光 ・上井手を活用して、水車や銅銭糖などのポイントを置いた周回型の観光の推進ができないか。 ⇒散策で休憩できる公園整備などを計画中。 ■ビジターセンターの活用 ・駅南のビジターセンターについて、ソフト面で町の観光や広報になるようなものが可能であれば、大津町へ来られた方も町を知っていただく契機になると思われる。（4-4-1『駅周辺の交通システムの整備』での意見）			
基本事業名	2 - 5 - 2	観光資源の開発とイベント振興	商業観光課
■歴史文化伝承館の活用 ・現在整備中の歴史文化伝承館に、昔の宿場町当時のミニチュアを置けば、町の歴史を勉強できる。また町が発展するためにいろんな提案について関係課がお互いに連携することが大事である。 ■他課とも連携したまちづくりの推進 ・まちづくりの推進は大変重要であるので、まちおこしという形で関係する他課とも連携強化しながら積極的に進めていただきたい。 ■祭りの期間 ・地藏祭の期間が短縮されたが、以前のように2日間に復活するのか。 ⇒祭りの期間については、実行委員会の中で今後検討が進められる。			

施策の大綱 3 未来を拓くふるさとづくり

施 策	3 - 1	みんなの夢が叶う教育の実現	
基本事業名	3 - 1 - 2	家庭・地域・学校の連携強化	学校教育課
■生徒とのコミュニケーションと家庭との連携 ・先生方には、子ども達と親密な関係を持ち、保護者とも緊密になり意見を聞きながら教育の充実を図っていただきたい。 ■地域に開かれた学校 ・教育の日には保護者や地域の方が簡単に学校へ行けて、教育の現状を見て、アドバイスできるような環境を作っていただきたい。 ■コミュニケーション力の向上 ・学校教育の中でも、コミュニケーションがとれる子ども達を育てていけるような豊かさを確かな学力と併せてお願いしたい。			

施 策	3 - 3	学校教育の振興	
基本事業名	3 - 3 - 1	確かな学力の育成	学校教育課
■学習支援、特別支援、学校生活支援体制 ・学習支援指導員、特別支援補助員、学校生活支援補助員の配置については、継続して実施していただきたい。			
基本事業名	3 - 3 - 4	良好な教育環境の整備	学校教育課
■学校施設、設備の維持管理 ・学校のプールの浄化装置が故障していたことがあった。学校施設の維持管理は、学校や教育委員会でしていただきたい。			

施 策	3 - 4	生涯学習の振興	
基本事業名	3 - 4 - 1	生涯学習の充実	生涯学習課
■生涯学習施設内の施設整備 ・利用者からの施設整備などの要望に対する少しの投資により利用者の増加や活用方法の変化にも繋がる。 ■陣内地区公民館分館トイレの改善 ・陣内公民館のトイレは男女共同なので、男女別にしていただきたい。			
基本事業名	3 - 4 - 3	図書館の有効活用と充実	図書館
■図書館の駐車場 ・駐車場が狭く常に満車なので、近隣の駐車場の借用など、対応を検討していただきたい。 ■町外の利用者 ・図書館利用の4分の1位は他町村の方が利用されているが、町の税金で運営されているので、町内の方とはある程度サービスの差をつけてもいいのではないかな。			

施 策	3 - 5	文化の振興	
基本事業名	3 - 5 - 1	文化活動の活性化と文化財・伝統文化の保全と活動	生涯学習課
■歴史ボランティアの養成 ・町内の史跡全体に対する研究者やボランティアが少ないので、江藤家住宅だけではなく、町内の史跡を説明できるような後継者を養成し、多くの方に聞いていただきたい。 ■歴史文化伝承館を活用した歴史関係展示 ・現在整備中の『歴史文化伝承館』に、昔の宿場町当時のミニチュアを置けば、町の歴史を勉強できる。（2-5-1『観光施設の整備』での意見）			

施 策	3 - 7	人権を尊重する地域社会の実現	
基本事業名	3 - 7 - 1	地域社会における人権教育啓発の推進	人権推進課
■行政と企業との連携 ・町内の各企業でも人権啓発研修会を開催しながら認識を高めている。企業連絡協議会でも行政事務局と連携を密にしながら人権啓発に積極的に関わっていききたい。 ■人権推進課の事務所の位置 ・現在の事務所の位置は、南部の住民からは距離感を感じる。 ■人権問題解決の観点 ・人権教育は、全ての人権に対する考え方が確立しないといけなし、そのような観点を持つことで人権問題を解決していかなければならないと思う。			

施 策	3 - 9	国際交流事業の推進	
基本事業名	3 - 9 - 1	国際交流の推進	商業観光課
■姉妹都市を活用した国際交流の推進 ・平成23年8月まで、アメリカのヘイスティングス市からのALT（外国語指導助手）の先生から英会話教室や図書館の読み聞かせなどが行われていた。ヘイスティングス市は姉妹都市であるので、ぜひ復活をしていただきたい。 ■町在住の外国人との交流 ・大津町在住の外国人の方たちとの交流や人材活用により、歴史、伝統、文化などのふれあいの機会も作っていただきたい。			

施策の大綱 4 魅力的で快適な生活環境づくり

施 策	4 - 1	土地利用と都市計画の推進	
基本事業名	4 - 1 - 1	秩序ある計画的土地利用の推進	都市計画課
■開発指導 ・高層住宅の建設計画に対する指導など、まちづくり基本条例にある『町民は誰もが等しく尊重され快適な環境において安全で安心な生活を営む権利を有する。』という規定に反しないように住民側に立った姿勢で行政をしていただきたい。 ■屋外広告物の建築 ・建築許可については、権限庁である県と連携していただきたい。			

施 策	4 - 2	地球環境との共生	
基本事業名	4 - 2 - 1	自然環境の保全と活用	環境保全課
■公共施設への太陽光発電の設置 ・太陽光発電の推進は今後、環境面から非常に大切なことである。町の避難場所でもある学校や公共施設へ太陽光発電を整備していただきたい。 ■風力発電の学校への設置 ・自分達が使う電気を風力で生産して使うということは教育面からもメリットがあると思う。電力会社が発電して配電、販売するシステムは、そろそろ考え直す時期にきているのではないか。			
基本事業名	4 - 2 - 3	資源循環型社会の形成	環境保全課
■環境意識の啓発 ・町民1人当たりのごみの年間排出量を減らすために、町民に対する積極的な啓発が必要である。自分の身近なことに関連してアピールをしてはどうか。 ■生ごみの減量 ・生ごみを減らすために、ごみ処理機購入に対する町の補助を増やすことで、ごみ処理機が普及すれば可燃ごみの量は減ってくると思われる。			
基本事業名	4 - 2 - 4	公害の防止と地球環境保全の促進	環境保全課
■環境美化の推進 ・環境美化については、企業の環境方針の中にも積極的に行うことなどが入れられており、企業としても町とともに積極的に取り組んでいきたい。 ■地域コミュニティによる環境保全 ・区役や環境活動などの地域コミュニティ活動の保全が、地域の環境保全の大きな力になると思う。 ■航空騒音 ・熊本空港の開港時間は午後9時半までであるが、時間が遅れると午後9時半を過ぎて降りてくる飛行機もあり、地域住民は航空騒音に悩まされてる。小学校などの教育施設もあり、将来の子ども達への影響も心配している。			

施 策	4 - 3	道路網の整備	
基本事業名	4 - 3 - 1	生活道路の整備・改善	道路整備課
■通学路の安全 ・大津中学校から国道57号バイパスまでの間の県道西側には歩道がないが、事故の発生状況はどうか。⇒非常に危険だと認識しており、県道と国道であるので関係機関にお願いをしている。 ・旧アルコール工場東側の鍛冶の上団地前の町道（後迫前田線）は通学路であるが歩道がない。子ども達の安全を優先させていただきたい。			

基本事業名	4 - 3 - 2	幹線道路網の整備	道路整備課
■県道瀬田竜田線の改良計画と安全施設 ・県道瀬田竜田線の吹田、森地区の未改良区間の今後の計画について。また改良区間では横断歩道が少なく信号もない。通学路でもあり、地元からは強い要望がある。 ⇒未改良区間の道路改良については、県に要望している。改良区間の横断歩道の整備などについても警察や県に要望をしていきたい。 ■町へ移管される旧県道瀬田竜田線の改良計画 ・瀬田地区の県道バイパス工事でバイパスが開通した後の町に移管される旧県道は、河川もあり環境美化の観点も踏まえて地域から要望が上がっていると思われる。今後の計画について。 ⇒旧県道は、現在側溝も含め道路が傷んでいるので、町へ移管する前に県が整備することになっている。 ■国道57号の4車線化の地元説明 ・4車線化の工事に伴う取り付け道路や計画などについては事前に地元説明会が行われているが、進行状況などについても説明をしていただきたい。 ⇒工事の中間報告や事後報告について、国土交通省にお願いしていきたい。			

施 策	4 - 4	公共交通の維持	
基本事業名	4 - 4 - 1	駅周辺の交通システムの整備	都市計画課
■ビジターセンターの活用 ・駅南のビジターセンターについて、ソフト面で町の観光や広報になるようなものが可能であれば、大津町へ来られた方も町を知っていただく契機になると思われる。 ■ビジターセンター屋根の改善 ・ビジターセンターと空港ライナー待合ベンチ間の屋根の隙間の改善についての要望。 ⇒工事により改善中。 ■駅南駐車場の料金表示 ・20分までが無料という料金表示が分りにくい。 ⇒大きな看板を設置して分りやすく整備した。			

施 策	4 - 5	公園・緑地の整備	
基本事業名	4 - 5 - 1	安全・安心な公園の整備	農政課
■公園の維持管理 ・公園施設のバリアフリー化や遊具の老朽化による事故などが発生しないように定期的に見回り点検を行うなど、安心、安全な公園のための維持管理をしていただきたい。 ■公園のパトロール ・ソフト面では、町中をパトロールされている方々にポイント的に回っていただくと安全面に効果があると思われる。			

施 策	4 - 6	住宅の整備	
基本事業名	4 - 6 - 1	公営住宅の整備	都市計画課
■町営住宅建設の規格 ・高齢者の入居世帯を周りの若い人たちが見守り、子育て中の世帯へは何かお手伝いができるなど、多様な世代の人達が入居できるような規格の住宅パターンの計画ができないか考えていただきたい。（4-6-2公営住宅の管理での意見）			
基本事業名	4 - 6 - 2	公営住宅の管理	住民課
■家賃の滞納対策 ・町営住宅は公の住宅なので、住宅家賃の滞納については分割納付などの形で不公平にならないようにしていただきたい。 ■地域コミュニティ ・町営住宅の入居者は高齢者の一人暮らしの方も多いと思われるので、地域コミュニティの施策としての解決も必要と思う。			

施 策	4 - 7	上下水道の整備	
基本事業名	4 - 7 - 2	下水道の整備	下水道課
■受益者負担金（農業集落排水：1世帯当り18万円、公共下水道：宅地面積1㎡当り300円） ・受益者負担金は農業集落排水の方が分りやすい。公共下水道では下水の量が変わらなくても敷地が広ければ負担金が高くなるので少し不合理を感じた。			

施 策	4 - 8	消防・防災の充実	
基本事業名	4 - 8 - 1	消防・防災の推進	総務課
■消防団員の確保 ・町から団員が勤務している企業へ消防団活動に対する理解の働きかけはされているか。 ⇒消防団への協力事業所としてお願いする制度があり、消防団員が勤務している事業所へお願いに行きたい。 ■消防団員報酬などの見直し ・消防団の運営費補助や団員報酬についての見直しについて。 ⇒現在は団員報酬などの増額は検討していない。 ■自主防災組織活動 ・自主防災組織で町の消防機材を使用できるような検討はされているか。 ⇒自主防災組織の消防機材の取扱いが災害時に活動された際の補償等も含めて検討したい。			

施 策	4 - 9	地域安全の充実	
基本事業名	4 - 9 - 1	地域防犯体制の強化	総務課
■街灯の照明 ・照明が暗いので防犯面からも明るくしていただきたい。LED照明は設置経費は高いが明るく電気代も低額なので交換していただきたい。 ⇒新たに整備するものについてはLED照明にしたいが、既存の照明の交換については多額の経費がかかるので現在は計画がない。			

施策の大綱 5 改革と分権の時代の新たな行財政運営

施 策	5 - 1	行政運営の充実・強化	
基本事業名	5 - 1 - 3	電子自治体の推進	企画課
■情報のバックアップ体制の確保 ・大規模災害時における情報のバックアップ体制を確保していただきたい。 ■事業達成度の遅れに対する対応 ・達成度評価が『C』であり、遅れている業務については重点的に進めていただきたい。 ■専門的な職員の配置 ・情報セキュリティ対策のためには専門的に精通した職員の配置などの対策をとっていただきたい。 ■町ホームページへお悔やみ欄の掲載 ・お悔やみ欄を掲載することができるか。 ⇒新聞や広報への掲載を希望されない件数が全体の約4割ある。またプライバシーの観点からも掲載は困難と考えている。			

施 策	5 - 2	財政運営の充実・強化	
基本事業名	5 - 2 - 1	健全財政の運営	企画課
■健全財政の運営 ・町の財政が破綻しないように引き締めて健全財政の運営をしていただきたい。			
基本事業名	5 - 2 - 2	公有財産の適正管理	総務課
■オークス駐車場へのカーブミラー設置 ・役場南のオークス駐車場から東西に出るときに見えにくく危険なので、出やすいようにカーブミラーを設置していただきたい。			
基本事業名	5 - 2 - 3	信頼される税務行政の運営及び自主財源の確保	税務課
■納期のお知らせ ・月末に防災行政無線で納期限のお知らせの放送があっているが、ギリギリではなく、もう少し早く知らせた方が効率的ではないか。 ⇒納期は納税通知書で早めにお知らせをしており、お忘れの方に確認の意味で放送している。総合的に検討したい。 ■行政サービス ・成果指標にある『効率的な行政をおこなっていると思う住民の割合』の数字（24.2%）では町民は納得されないと思う。町民は株主だという気持ちで行政サービスをしていただきたい。			
施 策	5 - 3	情報の共有化による協働のまちづくり	
基本事業名	5 - 3 - 1	協働によるまちづくりと行政運営	企画課
■行政情報の提供と住民の意見の反映 ・現在行っている町の新しい情報を説明会などで住民に伝えながら住民の意見を町政に反映していただきたい。 ■まちづくり基本条例に沿った行政運営 ・まちづくり基本条例には良いことが書いてあるが、現実に実行されているとは言えないところが問題点だと思う。この条例に沿う形で今後とも行政運営をお願いしたい。（5-2-3『信頼される税務行政の運営及び自主財源の確保』での意見）			
基本事業名	5 - 3 - 2	情報公開と情報発信の強化	総務課
■行政情報の公開 ・町も議会も自分達の行っている状況を詳細に公開することで、住民の理解と信頼を得ることができると思う。（5-2-3『信頼される税務行政の運営及び自主財源の確保』での意見）			
基本事業名	5 - 3 - 3	議会情報の発信強化	議会事務局
■情報の公開 ・町も議会も自分達の行っている状況を詳細に公開することで、住民の理解と信頼を得ることができると思う。（5-2-3『信頼される税務行政の運営及び自主財源の確保』での意見） ■開かれた議会運営 ・年に1回程度は、休日や夜などに議会を開催し、納税者や町民が参加できる場と機会を考えるべきである。また議会は地域と町民が一体となって町を支えていくような形に持っていくための大きな側面のひとつである。			
施 策	5 - 4	地域コミュニティづくり	
基本事業名	5 - 4 - 1	地域コミュニティの活性化	企画課
■元気大津づくり活動事業の広報 ・元気大津づくり活動事業（地域通貨『水水』）については、住民に浸透するようなPRや啓発をしていただきたい。			